

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	English A		
英文授業科目名	English A		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	田中 智子 (学内連絡教官 佐藤 美弥子)		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>TIME誌が読めるようになり、CNNのニュースが聞き取れる力をつけることを目標とする。          TIMEやCNNニュースはアメリカのみならず、世界中の人々から親しまれている雑誌やテレビニュースである。こうした生の素材を用い、今日世界が直面する問題や、音楽・スポーツなどの興味深い話題を読み、見、聞き、そしてそれについて自分の考えを英語で表現できる力の向上をめざす。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
教科書：World Topics: From TIME Reading to CNN News Listening (松柏社)

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>各ユニット毎に概ね以下の項目をカバーする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォームアップとして主要な語彙の確認</li> <li>・TIME誌のリーディング/CNNニュースのリスニング及び内容理解のための各種タスク</li> <li>・コミュニケーションに役立つ表現を含んだリスニング/スピーキング/ライティングタスク</li> <li>・ペアワークやグループディスカッションの場で各自の意見を英語で述べたり、書いてまとめる。</li> <li>・その他、各メディア、インターネット等から収集した関連資料の速読</li> </ul>

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：以下の要素をすべて網羅し総合的に評価する。

小テスト、課題の評価点、出席/授業への積極的参加、期末試験。

評価基準：以下の到達レベル/条件をもって合格の最低基準とする。

- ・新聞、雑誌等の大意をあまり時間をかけずに的確に把握できる。
- ・平易な英語を使って、自分の伝えたい事を書き、話すことができる。
- ・決められた課題をすべて提出
- ・学期中3分の2以上の出席

### 【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。

### 【学生へのメッセージ】

皆さんの積極的な参加が不可欠の授業です。テキスト付属のCDを自宅でも繰り返し聞いて耳を鍛えましょう。

世界で起こる様々な話題に、英語を通して触れる楽しさを実感して下さい。

### 【その他】